

FD
63

軍事極秘

自昭和十九年八月一日
至昭和十九年八月三十一日

陣中日誌

獨立混成第五聯隊第三機關銃中隊

21427

陣中日誌例式

第一陣中日誌ハ九ノ諸部團隊ニ於テ作ルハ首モト下ノ如ク
 大本營及各部(郵便部ヲ除ク)高等司令部(編成上各部ニ
 區分スルモノ)其ノ各部毎ニ但郵便部ヲ除ク兵站監部各部隊兵
 站司令部聯隊大隊獨立中隊砲兵聯隊段列堡壘團
 獨立堡壘獨立砲臺電信隊衛生隊療院縱列監視
 隊兵器廠隊備員隊備廠患科輸送部專隊
 留守司令部及補充諸部隊ニ在テハ右ノ區分應シ留守
 日記ヲ作ル首トシテ第三項乙ニ掲ケル項目ニ準テ記載スヘシ

第二陣中日誌及留守日記ハ諸隊團隊動員令受領簿
 記載スヘキモノトス
 特別部隊等ニ在テハ先ニ到着セシ將校又ハ同當官之ヲ記載
 ヲ始メ後ニ之ヲ居住者ニ移シモノトス
 第三之ヲ依ル目的ハ左ノ三項ニ在リ

甲各人若ハ諸部團隊ノ經歷若ハ遭遇シタル實況ヲ記
載シ一ニハ戰史ノ用ニ供シ一ニ各人ノ勤勞ヲ他日銓衡
スルノ參考ニ供ス

乙編制教育補充給養衛生武器彈藥器具
材料被服裝具等凡ハ軍事ニ關ル事物ノ經驗ヲ
錄シ將來改良ノ材料ト爲ス

第四 甲目的ヲ達セシムル諸件ニ注意シテ記載スルハシ

一命令訓令通報(機密作戦日誌記載セタルモノハ簡單ニ其要領ヲシテ)

二毎日ノ位置圖(某地ヲ去リ某地ニ留ル等)

三行軍宿營ニ關ル事項

四戰鬪景況(戰鬪顯著ノ記載スルモノハ詳細ニ部隊位置圖勝敗ノ確證ヲ記スル)

五戰鬪間ニ生ズル事件

以上ノ事ヲ記スルニ方リ時刻ヲ詳記スルコトヲ志スル可ラス又以上ノ

事ニ關シ自己ノ部隊ノ影響ヲ著シテ事項(天候地形險易道路

ノ良否ノ家ノ多少等類ハ簡單ニ附記セラル可ラス

六所屬セシ軍隊ノ區分(團大隊中隊等)

七人員異動

轉任死傷等將校官兵名ヲ錄シ下士兵卒及馬匹其數ヲ錄ス

八休戰中宿營

九野戰作業等施設

十此地凡シ其一日間ニ生ズル要ニ關ル事項

第五 乙目的ヲ達セシムル諸件ニ注意シテ記載スルハシ

一武器彈藥器具 材料被服裝具等ニ關スルコト

二編制及諸規令ノ作戦上ニ及ボシタル影響等

三補充給養及衛生ニ關スルコト

四教育及軍紀ニ關スルコト

五非常時機ニ際シテ生ズル非常處置例ハ散見

在テ住民ニ多額ノ罰金ヲ課シタル等

時

第六、高等司令部諸部隊諸官廳ヨリ到達命令訓令

通報及之ニ送呈セル報告詳報其他死傷表武器
殫藥損耗表或ハ前哨等ヨリ至レル報告等ハ凡テ其
要領ヲ摘ミ記事、後ニ底書シテ参照ニ備ヘン但各原
本ハ種類毎ニ一括シテ保存スヘシ

秘密ニ屬スル特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ掲載スル能ハ
サルモノト雖モ其妨ナキニ至テハ成ルハク詳細ニ其顛末ヲ記載
スルモノトス

第七、凡ソ此日誌ハ月日時(順序ヲ遂ヒト地名トヲ明記セサル
可ラス)而シテ諸部隊隊長(或ハ參謀長)之ヲ點檢シ、毎日
記載ノ結尾ニ捺印或ハ蓋押スヘシ

第八、此日誌ハ諸部隊復員完結ノ日ヲ以テ終局ト爲シ
直ニ二本ヲ謄寫シ順序ヲ經テ陸軍省ニ原本ハ其ノ部隊ニ
格納スヘシ

陸軍

陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ

皆參謀本部ニ送リ之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ

第九、此例式ハハス陣中日誌ノ卷首ニ貼付スヘシ

海軍の任務は、まず日本海を確保し、東洋の要路を掌握することである。次に南洋の諸島及び台湾の重要地帯を確保し、我が國の安全を保障することである。更に南洋の資源を確保し、我が國の経済を強固にすることである。以上が海軍の任務である。

陸軍

訓示

戦局、推移日ニ急ニシテ皇國ノ運命ヲ決スヘキ機局ハ正ニ眼前ニ展開セリ、南西諸島及台湾ハ大東亞戦争地域ノ軸心ニ位置シ、特ニ本土及南方圏域ト、取不奪唯一ノ連絡圏域トシテ皇國戦争遂行上絶対確保ヲ要スル、地タリ、而シテ敵ノ企求スル所正シ、此ノ要域突破ニ其ノ重點ヲ指向スヘキ太平洋戦局ノ大勢ヲ決スヘキ彼我決戦ノ基ヲ起シ、當然ノ歸結タリ、軍ハ刻下戦局ノ近迫ニ鑑ミ、速ニ戦備ヲ増強シ、敵ノ來攻ニ方リテハ皇土上ヲ其ノ艦艇トシテ陸海空一體ノ綜合戦力ヲ佳不申シ形而上下ノ戰略的優位ヲ發揮シ、決戦ヲ指導シ、一與手敵ヲ粉碎セシムコトヲ期ス。

諸君、我々海軍ニ大ニ擊ヲ加ヘテ、之ヲ擊滅スルノ好機ニ際シ、奮然トシ、勇氣ヲ發揮シ、軍艦ノ團結ヲ巩固ニシ、粉骨碎身、決戦準備、萬死無懼ノ精神ヲ示シ、

タル心勝、信心心下皇上南陣、防衛ニ念々艦石の重キヲ
加ヘ以テ決勝心成ニ一意進進シテ期スハ國ノ存亡ハ
昭和十九年八月五日

皇軍軍司令官 安藤利吉

（Faint vertical text, likely bleed-through or secondary content, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.)

東京小津館

訓示

國步漸ク難キ、秋死生ヲ借ニスハ兵團長トシテ道ニ合日
シ其ノ雄風ニ播シテ所懐ヲ張陳スル機ヲ得タルハ本職ノ是
ニ本懐トスル所ナリ
日曩ニ本職ハ雲立ッ大内山ニ召サレシキヲ軍統率ノ重責
ニ享ケル心懽感教何ヲ以テカ之ニ答フヤ
惟ニ曠古ノ危局ニ直面セル皇國ノ驕米ヲ擊滅ニテ狂瀾ヲ
既倒ニ國大キ天機ハ今ヤ因捷ノ間ニ在リ而シテ軍心ハ
南西諸島ノ地タル正ニ其ノ運命ヲ決スヘキ決勝會戰場
タルハ公算極メテ大ニシテ實ニ皇國ノ興廢存亡ノ負荷
シアル要位ニ在リ
仍チ本職深ク決スル所アリ恭テ
明勅ヲ奉シ慎ミテ前官ノ偉跡ヲ踏ミ堅ク部下將兵ノ
忠勇ヲ信倚シ壯嚴ニシテ雄渾ナル會戰ヲ斷行シ誓ヒソ

軍

テ完勝街道ヲ首進シテ

聖旨ニ對シ奉ランコトヲ期ス

之ガ爲茲ニ本職統率ノ大綱ヲ披瀝シテ要望スル所アラ
ントス

第一、森林嚴ク軍紀ノ下鐵石ノ團結ヲ固成スヘシ

常住坐臥常ニ

勅諭ヲ奉體シ之ヲ具現ニ邁進スヘシ特ニ上下相共ニ

禮讓ヲ守リ隊長ヲ中ハトシテ融々和樂ノ間明朗習

達戰鬪苛烈ヲ極ムルニ至ルモ一糸亂レサル軍固ナル

團結ヲ固成スヘシ然レトモ非違アラハ斷乎之ヲ免除

ニ此ノ躊躇アルヘカリス

第二、敢鬪精神ヲ發揚スヘシ

深刻ナル敵愾心ヲ湧起シテ常在戰場ノ矜持ノ不

戰進ヲ備ニ邁進シ以テ必勝ノ信念ヲ固メ敵ノ來攻ニ

陸軍

方ソテハ戰鬪慘烈ノ極所ニ至ルモ最後ノ一兵ニ至ル迄敢

鬪精神ヲ堅持シ泰然トシテ敵ノ擊ヲ滅シ任セザルヘカラス

第三、速カニ戰備ヲ整ヘ且訓練ニ徹底シ斷シテ不覺尤ラ

取ルヘカラス

敵ノ奇襲ニ對シ備工ニ莫不攻入重點主義ニ徹シ

時日之ヲ諄サバ之ヲ並日漏化シ以テ難攻不落ノ固塞

タラシムルト共ニ訓練ヲ精銳ニシテ精銳無比ノ鋼鐵軍

タラシム以テ敵ノ奇正兩様ノ猛攻ヲ退クモ斷案ノ之ヲ擊

滅スルヲ要ス

第四、海軍、航空及船舶ノ緊密ナル協同運轉ヲ保

持スヘシ

今次偉戰成否ハ陸海空軍四者ノ協同ニ懸ル事ト極

テ大ナリ宣シク進テ關係部隊間ノ連絡ヲ保持シ精神

的運轉ヲ保持シ之ヲ統合戰力ノ發揮ニ勉ムヘシ

第五 現地自活ニ徹スヘシ
 極力資材ノ節用増産貯藏等ニ勉ムルト共ニ
 創意工夫ヲ加ヘテ現地物資ヲ活用シ一本一草ノ雖モ
 之ヲ戦力化スヘシ

第六 地方官民ヲシテ喜ヨクテ軍ノ作戰ニ寄與スルニ
 テ郷土ヲ防衛スル如ク指導スヘシ
 之ヲ爲シ郷土ニ地方官民ヲ指導シ喜ヨクテ軍ノ作戰
 準備ニ協力セシムルト共ニ敵ノ來攻ニ方シテハ軍ノ保衛
 ラ阻礙セサルノミナラス進ニテ戦力増強ニ寄與スル郷
 土ヲ防衛セシムル如ク指導スヘシ
 第七 「防謀ニ嚴ニ注意スヘシ」
 右訓示ス

尚細部ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ指示セシムヘシ
 昭和十九年八月一日 軍司令官 牛島 滿

八月一日
 火曜日
 命令

一 兵進級ニ關スル命令
 第二機関銃中隊関係分屯記ノ通
 陸軍上等兵 大懸源作
 命陸軍兵長

陸軍一等兵 米田政治
 同 扇澤良三

二 中隊命令
 命陸軍上等兵

官等代	名	官等代	名
陸軍	岩村 勇	同	野村 一郎
同	柳澤 直成	同	木村 碩太郎
同	澤之 喜朗	同	廣瀬 雄
同	金澤 武光	同	織田 興一
同	官林 啓數	同	東 宗一

同	塚本久信	同	前川逞
同	竹島久良	同	岩城宗次
同	大島三九郎	同	川田俊男
同	高田進二	同	森瀬大四郎
同	草開勇		
命 陸軍一等兵			
日直下士官 陸軍伍長		山本久次	
同 上等兵 同 上等兵		飯田正光	
頭書ノ勤務ニ服ス			
日課 三、自九。一。至二。一。間 射撃演習(高射會)			
同 幹部ニ対シ大隊長學科並			
夜間ニ於テ前進 戰鬥要領			
自三。一。至六。一。間 一般中隊ノ小隊教練(接敵動作)			
殘存人員全部大隊長指導下見學			

陸軍

宿營地			
讀谷山國民學校			
人員 中隊長以下三名(他連小隊長。各一名)			
水曜日 中隊長令			
日課 日直下士官 陸軍伍長 大井春雄			
同 上等兵 同 上等兵 石川正久			
頭書ノ勤務ニ服ス			
自三。一。至六。一。間 一般中隊ノ小隊教練(接敵動作)			
自八。一。至九。一。間 同 伍長以下指揮班			
命令傳達演習			
自三。一。至六。一。間 中隊長學科(指揮班員)			
接敵前進間指揮班ノ位置及使命			
自三。一。至六。一。間 指揮班員傳達演習			
果ては隊員ノ前進			

陸

陸

宿營地

人員

八月上旬

木野目

命令

讀谷山國民學校

中隊長以下三三名(他第一小队(五))

一聯隊命令

美作命令第七號要旨

一隊八個頭地區、警備隊ヲ担任ス、加藤

二聯隊、伊江島警備隊ヲ担任ス、本部地區隊

上ノ屋敷地區島港東方約一公里、然右島、安藤實瑞

百大隊、一小隊ヲ配屬、各隊、本言夜ヲ徹

材料資材ヲ比謝河津渡頭ニ送出、明野村

掛指シ依テ搭載ス(シ)

四聯隊本部、第一大隊獨立隊、一部渡久地

第三大隊、今歸仁ニ移駐ス(シ)

陸軍小隊

陸軍

第三日

各隊、宿營地、本部、加藤、大野、

本隊、各隊、分隊、警備隊、警備隊、

警備隊、警備隊、比謝河津渡頭、渡久地、

九、五、五、五、五、五、五、五、五、五、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、

三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、

四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、

六、六、六、六、六、六、六、六、六、六、

七、七、七、七、七、七、七、七、七、七、

八、八、八、八、八、八、八、八、八、八、

九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、

十、十、十、十、十、十、十、十、十、十、

十一、十一、十一、十一、十一、十一、十一、十一、十一、十一、

十二、十二、十二、十二、十二、十二、十二、十二、十二、十二、

十三、十三、十三、十三、十三、十三、十三、十三、十三、十三、

十四、十四、十四、十四、十四、十四、十四、十四、十四、十四、

先發

四、第... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

陸

軍

六、... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...
... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

二

三

四

五

六

日課

... 隊... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

人賞

... 獎

命令

命令

命令

命令

一 獨逸五作會第一 (第一〇六)

二 獨逸五作會第五聯隊命令

三 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

四 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

五 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

六 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

七 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

八 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

九 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

十 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

一 獨逸五作會第一 (第一〇六)

二 獨逸五作會第五聯隊命令

三 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

四 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

五 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

六 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

七 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

八 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

九 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

十 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

陸軍

人員

人員

人員

人員

人員

一 獨逸五作會第一 (第一〇六)

二 獨逸五作會第五聯隊命令

三 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

四 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

五 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

六 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

七 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

八 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

九 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

十 聯隊中頭地區之警備及對道南方面之防備

陸軍

縱隊進居石ノシ出交ハ三四ノ上隊是是別命入
 二 中隊命令
 被平分駐第一十隊ハ本五日一更言送ニ隊
 收シ中隊須歸スシ
 三 會報
 一 高隊ハ本五日一四一五ノ間倉内外大掃除
 ヲ實施ス各隊ハ所要物料ヲ利用シ徹底的ニ
 實施スシ大掃除完了後中隊長報告ス
 二 徹收ハ隊ハ防謀止ノ後仕末角ヲ時ニ留意スシ
 紙屑ハ一切將校立會場上燒却ス
 三 借用物品ハ必ス責任者ヲ以テ返納シ出發後地
 方ハ可ク免角樽ヲ用ク下キ様注意スシ
 四 新務駐地ノ情况ニ鑑ミ釘網等ハ此類此類
 上雖モ之ヲ回收シ再使用スルコト

陸軍 東京小隊附

日課	移駐	人員	月日	日曜	命令
四 午前中車線出發準備 一四一五ノ倉内外掃除實施後休養 五 二三二五 讀倉國民學校出發 所屬車輛ニ 運搬資材運搬用トシ 中隊長以下九名(地先頭一四名(夜警ニ有難送二)) 井作輔命第一號 井止隊命令要旨 一 大隊ハ本五日現任地ニ於テ大休止ヲテ爾後行 動ヲ準備セ 二 本部各中隊隊ハ夫ノ設置者ノ指示ニテ大休止 ヲ實施スシ 三 警備隊集合場ハ校庭トシ空襲警備ハ校庭 南側附近ニシテ機銃中隊ハ全力ヲ以テ對空射撃 ヲ行フ					

出發ハ六日二四。ト予定スルニ別命ス。
 二 井上隊命令第三號
 井上隊命令要旨
 一 大隊ハ本夕現在地ヲ發シ名護ヲ經テ仲津根
 二 前進セシム
 三 本部在中銃隊ハ六日二三。迄ニ校庭西面
 四 縱隊滿隊一線ニ集合スル
 出發ハ二四。ト予定スルニ別命ス。
 三 行軍序列ハ大隊本部 第五中隊 第六中隊
 第四中隊 機關銃中隊
 三〇五。 恩納村國民學校者 宿營地
 四 注意事項
 一 火災予防ニ務メ冷風部ヲ避ケテ宿營ス
 二 井上隊ハ炊事用具 救急箱ノ保存

陸軍 東京小澤部

人員
 月七日
 月八日
 命令
 一 井上隊命令第三號
 二 井上隊命令要旨
 三 大隊現地地味ヲ名護(大休止セシム)
 四 名護ハ敵營者指示ニ依リ大休止ス
 五 敵營者ヲ名護ハ校庭ニ集メテ隊員ニ機
 六 關銃ハ全隊員ヲ放逐シ敵側射撃ヲ對ス
 七 射撃ニ對シテ國隊員ヲ射ス
 八 出發ハ名護ハ敵營者ヲ名護ニ對シテ
 九 井上隊命令第三號
 一〇 大隊ハ朝八日編成ニ現地地出發機
 十一 大隊ハ朝八日編成ニ現地地出發機

頭義親留之山... 相山 大年 卷長... 浦山 山田 藤... 浦山 山田 藤... (以上十名)

人員

八月九日

水曜日

命令

- 一 中隊命令... 二 大隊命令... 三 依前川司令射... 四 陸軍... 五 陸軍... 六 陸軍... 七 陸軍... 八 陸軍... 九 陸軍... 十 陸軍...

軍

日課 二 三 四 五 六 七 八 九 十

分駐 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

宿營地 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

人員 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

八月十日 木曜日

命令

一、(本隊) 今歸隊準備隊下より先ノ一部ヲ寺崎山附近ノ前進陣地ヲ主力ヲ以テ平敷南ノ前山南ノ高地ニ急襲ヲ敢テ遂行スル機ヲ備ヘテ
 二、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 三、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 四、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 五、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 六、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 七、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 八、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 九、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ

(附録・官報)

報告

報告書 本日 指示ス

一、明日之自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

二、五名機関銃三挺及無線電機三挺及手書及各中隊

三、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

四、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

五、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

六、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

七、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

八、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

九、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十一、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十二、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十三、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十四、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十五、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十六、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十七、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

十八、自前ノ人借使事用務及手書及各中隊

命令

一、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 二、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 三、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 四、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 五、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 六、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 七、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 八、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 九、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十一、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十二、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十三、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十四、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十五、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十六、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十七、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十八、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 十九、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ
 二十、(各隊) 前進陣地ノ境界ヲ凡ノ如シ

地

築機團總中隊 第一分隊
八：服裝、徒手、重倉檢修
今歸仁國民學校

宿營地
日課 三自、八：一至一：。全戶外清潔、整頓、
巡視 四：。大隊長巡視

講評 五自、四：一至一五：。部隊長巡視
六自、六：一至一七：。部隊長訓示講評

日課 七自、七：一至一四：。各個教練(股)本勤參(身)
命令 八中隊命令

遺書下士官隱匿隊長 佐藤正義
同 上等兵同上昇兵 西村梅藏
自八月二日 間頭書、勤務(服ス)シ
至八月五日

陸軍

人員
由隊裏以下志三和(他)第一隊六。(若)

命令
井上隊命令要旨
西部隊日直將校別就直(服務ス)

八月十五日 合支隊
八月十六日 合支隊

八月十七日 合支隊
八月十八日 合支隊

日課
二自、七：。重倉檢修、重倉檢修、
勤務 三本部厚藥、反領要務兵、(渡久地)

宿營地
野村、高田、等兵、

人員
今歸仁國民學校
中隊長以下志三和(他)第一隊六。(若)

八月五日 第一隊六。(若)

月曜日

井上隊長命令要旨

命令

明十五日勤勞奉仕隊受領、タム。セ。ネ。運。二。七。知。ク。差。出。シ。副。官。指。示。ヲ。受。ケ。シ。

下士官一 兵二

二 會報

一 明十五日彈藥受領、タム。各。中。銃。隊。八。兵。名。ヲ。差。出。シ。本。部。中。隊。隊。長。指。示。ヲ。受。ケ。シ。

二 雨。天。場。合。他。大。隊。本。部。事。務。室。應。接。室。前。廊。下。通。行。ヲ。禁。ス。

日課

三 自。六。三。一。至。八。〇。生。機。壕。及。交。通。壕。構。築。

宿營地

今歸仁國民學校

人員

中隊長以下三三七 (他第三隊二。名)

八月廿五日

一中隊命令

週番下士官陸軍伍長 大井秀雄

(納谷 貞一)

陸軍

命令

週番上等兵陸軍上等兵 米田政治

日課

一 自。八。五。日。至。九。九。日。頭。書。勤。務。二。服。タ。シ。ス。

勤務

三 勤勞奉仕隊受領員

指揮班 川嶋軍曹 玉川上等兵

第一分隊 赤崎上等兵

第二分隊 浦山兵長

四 本部彈藥受領用務兵上士 宮林一等兵

勤務奉仕

五 陣地構築二協力勤勞奉仕隊トシテ

指揮班 (長) 成間源英 以下男二。女一三

第一分隊 (長) 中村精助 以下男一。女三

第二分隊 (長) 大城隆春 以下男二。女一三

今歸仁國民學校

宿營地

中隊長以下三三人 (他第二小隊二。人)

八月廿日 井日命第二八號

水曜日 井上隊命令要旨

命令 二兩後自轉車並乘馬使用ハ必ス副官

ノ許可シタル後使用ス

二會報

尤通リ變更ス

六月二十日 井作命第一號 第三項中列車電

車上變更ス 第三項中列車上ルヲ電車ニ變更ス

第參次富田主計中尉トアルハヲ削除ス

日課 三自〇七。〇。一至二八。 生棟壕 交通壕構築

指揮班(長)城間源英 以下男二 女一

第一分隊(長)中村精助 以下男二 女一

第二分隊(長)大城隆春 以下男五 女一六

宿營地 今歸仁國民學校

(納谷良・中尉)

人員

八月廿日

水曜日

命令

中隊長以下三三人(他第二小隊二一人)

井日命第二九號

井上隊日々命令

一 第三機関銃中隊 隊員伍長 大井秀雄

右兵糧要地誌編寫主任特務班二以下吉岡

ヲ命ス

二 明七日〇八。各隊ハ尤認用務員ヲ差出ス

第三機関銃中隊 兵三

中隊軍曹右ヲ指揮シ既ニ進出シ細部ニ

関スルハ中隊軍曹ニ直接指示ス

三 兩分隊城壕ヲ勤務作業隊員ハ出陣人員ヲ

次自入ル。迄ニ本部ノ指示ニ依リテ

四 各中隊隊長ノ作業場ニ於テハ湯水ヲ設備シ

以テ富田主計中尉ト連絡ス

軍

二 會報

以各隊八最近「蛇」發生增加二伴。各部急隊
 八捕獲蛇多キヲ工夫作成シ捕殺シ務ルル下
 捕殺總蛇八每日〇人。迄ニ取メト人目直下書
 之ヲ醫務室ニ員數表ヲ附シ差出ス。シ
 各隊ノ作業間不慮ノ外傷地毒病予防ノ
 タメ兼足ハマニノ作業ヲ嚴禁ス。
 日課 三 自。七。一。至。八。生棲壕壕交通壕構築
 勤勞奉仕 四 築城ニ協力勤勞奉仕隊
 指揮班(長)山城武次郎以下男一七女六
 第一分隊(長)中村精助以下男三二女六
 第二分隊(長)大城隆春以下男一三女九
 宿營地 五 今歸仁國民學校
 人員 中隊長以下三三人(他第一隊二人)

八月一日

命令

一 獨逸日會第四五號
 獨立混成隊第五聯隊日會命令要旨
 三 廣作務増進ニ関シハ隊長ヲ協力ニ関シテ通知
 了ルルニ付各隊ハ元氣充沛ニ要スル者ヲ休務セシメ
 七 記
 二 其補植ハ其日會第四五號ニ依リテ
 三 野屯米運轉ノ多ク八月十日ニ移シ三日間
 日課 二 自。七。一。至。八。生棲壕壕交通壕構築
 勤勞奉仕 三 築城ニ協力勤勞奉仕隊
 指揮班(長)山城武次郎以下男一七女六
 第一分隊(長)中村精助以下男三二女六
 第二分隊(長)大城隆春以下男一三女九
 宿營地 五 今歸仁國民學校
 人員 中隊長以下三三人(他第一隊二人)

四 各隊ハ三十日。七。迄ニ別紙協力人員ヲ本部前
 廣場ニ差出シ農作物増産作業ニ協力スル
 四 二十日晝食ハ携行食トシ
 別紙農作物増産作業人員分配表
 第三機附銃中隊

平 軟	二〇	勢理春	二七
中尾 次	一五	計	五二

二 會報

明至日農作物増産協力間ニ注意事項
 一 服裝 略衣袴ニ晝食携行トシ是各組長以下
 劍下 長下直着 上着直着トシ
 三 自。六五。至一八。 駐棲家。交通壕構築
 四 築城協力勤務奉仕隊
 指揮班(員) 出城武次郎 男一七 女一四

陸軍 第三機附銃中隊

陸軍

宿營地 九 今歸仁國瓦礫敷
 勤務 六 本部入浴場建築 高田謙一軍兵
 二 二 湯田謙一軍兵

人員 一 隊長以下三三人(他第二小隊二人)
 二 美濃部第三號

八月十五日 八月十五日
 命令 入城後三日後撤去スル旨本團司令部通牒
 本年九月自陸山地會報ニヨリ自願ノ件ニ関シ九記、
 通牒指示アリ連日村隊内ニ於テ撤去ニ始メ
 又此ニ付宿營地ハ撤去スル旨本團司令部通牒
 會報 七 前

入城後宿營ニ携行セシメ兵員各 三十名式銃四
 機銃一挺トシ同宿營地ニ於テ宿營スル事ヲ
 六。發上ス 注意 但し剛八軍團司令部通牒

ヨリシハルモノハ之ヲ除ク、聯隊砲、連射砲中隊幾團
砲中隊ニ於ケル自衛用小銃八隊裝備ニ付携行等様
注意カレ度

二 會日報

ヨリ前日下土原以下營山休養ニ下

起床ヨリ、起床ヨリ自々退守時限迄、哨音集
集ヲ計可ス

海水浴、漁獲等ハ料較引率、下

三 昨二十日、九時、大隊長訓話ニ付各隊ハ、八四
迄ニ集合ヲ完了ス

集合地、本前前廣場

服装、防暑衣袴、蒲上靴、帯剣、除ク

三 自、上、下、六、農作物増産協力メ、人等、
城跡中部落ハ勤勞奉仕

日課

陸軍

宿營地

人員

月五日

精進

火曜日

命令

四 今歸仁國民學校

中隊長以下三三名(他第二小隊二名)

一 獨逸十五日命、第四七號

獨立混成第十五聯隊日命

一 別紙計畫書、本部隊長檢査、行、

方針、移動後、於此、兵、器、整、備、

期、戰、闘、ニ、支、障、ナ、ク、シ、ル、上、共、ニ、南、部、以、下

、攻、撃、性、能、ヲ、向、上、シ、期、ス

檢査、不、檢査、要、領

第三機槍、銃、中、隊、九、月、六、日、自、

、開、係、書、類、ハ、檢、査、場、所、ニ、既、列、シ、置、直、シ

、檢、査、官、質、問、對、シ、テ、ハ、充、分、ニ、説、明、ヲ、シ、得、ル、如、ク

準備ス

四 既、列、要、領、ハ、滿、宜、ト、ス

一 要修理兵員... 二 履歷... 三 會報... 四 明日... 五 前二... 六 第三... 七 四兩... 八 九記... 九 請... 十 雙... 十一 自... 十二 戰... 十三 休...

陸軍

一 宿營地... 二 人員... 三 命令... 四 日課... 五 勤勞... 六 勤勞... 七 勤勞... 八 勤勞... 九 勤勞... 十 勤勞... 十一 勤勞... 十二 勤勞... 十三 勤勞... 十四 勤勞... 十五 勤勞...

人員

會報

木曜日

命令

中隊長以下三名(他第一小隊三名)

會報

以明十五日分築城協力作業隊員出席人員表ヲ一。迄本部報告下。

四最近之於此將改訂之敬禮敬禮最務員

ノ者事ヲ注意ス。

四小部隊ノ引率並敬禮ノ要キテリ注意ス。

四最近之於此ヲ要キテリ燈油ニ引火ス

ル下アリ特ニ注意ス。

二頭。三。陣地構築

築城作業協力勤務奉仕隊

指揮班 男一。女二三 計三三

第一分隊 男一。女一。計二二

第二分隊 男一三。女一六。計二九

陸軍

陸軍

人員

會報

木曜日

命令

今藤仁國民學校

本部鐵工場勤務 自由隊員

中隊長以下三名(他第一小隊三名)

駐屯地命令第一號

陸軍少佐佐藤小十郎

有八前日。間本部地區司令官代理命令

二。獨混日命第四九號

獨之混成連聯隊命令要領

以本職本三本前部隊長會同出席夕泊三日

予定以字名護隊團司令官三出張ス

自。三。陣地構築

築城作業協力勤務奉仕隊

指揮班 男一。女二六 計三四

第一分隊 男一。女一七 計二七

第二分隊 男一。女一七 計二七

第三分隊 男三七 女三 計三〇

宿營地 五 今歸仁國民學校

勤務人員 六 本部鐵工場勤務 井崎上等兵 津田一等兵

中隊長以下三三三本一他第三小隊二名

命令 井日命第三四號

井長隊日命令要旨

明日午前糧秣地より上受領、夕、夕、夕。迄迄

記人員より本部前部員差出三宿田田主計中尉

指示 定分三三三

第機附銃隊 兵

三 會報

明日五。以降軍司令官閣下東隊等

將校全員 司候式三參列 單獨軍裝、卷

脚、國防色、手套着用、下

陸軍

陸軍

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 軍司令官 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 明日 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 會報 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 敬禮 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

三 井日命 三三三 兵隊 糧秣 教育 下

公用車執照牌洋
 凶物消滅(地)見(宗)取(三)
 尚將板引(時)雖(下)官(以下)旅行證明書ヲ
 所持セシムト

凶民家住所カ地方人名(用)テ書(問)出(ス)一
 往(下)リ(全)奇(没)収(ス)

凶紙屑(焼)却(シ)完(全)ニ(セ)リ
 凶書(問)檢(査)ハ(完)全(ニ)セ(リ)

凶(引)場(家)族(伴)ハ(實)兵(二)傷(害)
 凶物(持)出(シ)證(明)書(有)ル(モ)以(外)ハ(没)収(ス)

凶(中)隊(命)令
 凶(進)出(下)官(隊)長(他)渡(正)義(我)
 凶(同)上(等)兵(同)共(長)浦(山)健(忠)

凶(至)八月(辛)日(頭)書(勤)務(服)之(シ)

陸軍

日課	五	至(口)三。陣地構築
勤務	六	築城作業協力勤務奉仕隊
宿营地	七	今歸仁國民學校
勤務	八	本部庶務兵 高田 東 一等兵
人員	八	鍛工場勤務 神田 一等兵
人員	八	中隊長 以下三三人(他第二隊二人)
人員	八	中隊命令
人員	八	本自軍司令官閣下(巡視)三村各小分隊(九)記(注)
人員	八	意(又)也
人員	八	(予)前(中)各陣地(修)装(了)ス(シ)特(許)所(近)地
人員	八	物(持)和(ス)上(リ)

八月(辛)日
 晴
 命令

日課	二 雜用	三 築城協力勤務奉仕隊	四 指揮班 男 一	五 第一分隊 男 一	六 第二分隊 男 一	七 今歸仁國民學校	八 津部地以上役員	九 津部地勤務司員	十 高見一等兵	十一 中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	十二 聯隊會報
勤務奉仕	三	三	女 四	女 九	女 六	計 三五	計 二二	計 二六	計 二六	計 二六	計 二六
宿營地	四	四	今歸仁國民學校	津部地以上役員	津部地勤務司員	高見一等兵	中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	聯隊會報			
人員	五	五	指揮班 男 一	第一分隊 男 一	第二分隊 男 一	今歸仁國民學校	津部地以上役員	津部地勤務司員	高見一等兵	中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	聯隊會報
合計	二	三	計 三五	計 二二	計 二六	計 二六	計 二六	計 二六	計 二六	計 二六	計 二六

四 陣地ニ於テ九散禮ハ演習間ノ敬禮タルヘキコト。
 五 野戰奉仕員ヲ含メテ時期ヲ失テ九散禮ニ注意スルコト。
 六 工事中ハ上半身裸体ニ可但シ下半身ノ服装ハ充足
 通リタル(コト) (禱シハ不可)

陸軍

月曜日	一 軍司令部初度巡視	二 對射用品(ヨロシ)ヲ賜ル	三 大隊會報	四 陣地構築	五 指揮班 男 九	六 第一分隊 男 九	七 第二分隊 男 九	八 今歸仁國民學校	九 中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	十 築城協力勤務奉仕隊	十一 雜用
日課	二	三	三	四	女 五	女 六	女 六	計 三五	計 二二	計 二五	計 二五
勤務奉仕	三	三	三	三	計 三四	計 二二	計 二二	計 三五	計 二二	計 二五	計 二五
宿營地	四	四	四	四	今歸仁國民學校	津部地以上役員	津部地勤務司員	高見一等兵	中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	聯隊會報	
人員	五	五	五	五	指揮班 男 九	第一分隊 男 九	第二分隊 男 九	今歸仁國民學校	中隊長以下三區(地)第三分隊(人)	築城協力勤務奉仕隊	雜用
合計	二	三	三	三	計 三四	計 二二	計 二二	計 三五	計 二二	計 二五	計 二五

一 軍司令部初度巡視
 二 對射用品(ヨロシ)ヲ賜ル
 三 大隊會報
 四 陣地構築
 五 指揮班 男 九
 六 第一分隊 男 九
 七 第二分隊 男 九
 八 今歸仁國民學校
 九 中隊長以下三區(地)第三分隊(人)
 十 築城協力勤務奉仕隊
 十一 雜用

日課
勸勞奉仕

爆破教育

指揮班 男九 女二六 計三五
第一分隊 工兵隊協力隊 爆破教育員 計三五
第二分隊 男二六 女三二 計五八
三 工兵隊協力二依儿 爆破教育員 計三五
出頭

宿营地

人員
八月十日
水曜日
命令

今輝仁國民學校

官代	名	官代	名
尉川合次二	伍長	山田三太郎	名
伍長 相山外次	伍長	浦山健治	
曹長 寺崎與一	曹長	高見宗一	

中隊長以下三三人(他第一小隊) 大井秀雄
中隊長命令
曹長 寺崎與一
曹長 寺崎與一
曹長 寺崎與一

陸軍

日課

勸勞奉仕

爆破教育

宿营地

人員
八月十日
水曜日
命令

自九月十日 頭書員勸勞奉仕

三 依儿 協力 勸勞奉仕隊

指揮班

第一分隊 男一〇 女一三 計二三
第二分隊 男一六 女一六 計三二
第三分隊 男一〇 女一〇 計二〇

工兵隊協力隊 爆破教育員 曹長 寺崎與一
前日 爆破教育員 曹長 寺崎與一

中隊長以下三三人(他第一小隊) 大井秀雄
井上隊長命令
九月十日 日課 限女部 九通 變更
起床 時。五。五。五。五。五。五。

朝食。六。七。八。九。夕食。一。二。三。四。五。六。七。八。九。

別紙ノ通り直將校ニ服務ス(シ)
九月四日 中野少尉 九月五日 土口准尉
九月十四日 中野少尉 九月十五日 吉川准尉

二 部隊事務連絡

九月十日 中隊長以上隊長會同九記要領ニ依リ
實施教示(平)付御出陣被下度御通知申渡候

一日時 九月十日。九。。

四 場所 部隊本部(本部國民學校)

會同人員 大隊長及中隊長

四 各々中隊長兵給等一切同心意見ヲ入

九月五日。三。連。部隊長ニ提出ス。

日課 三 自。三。陳地構築

四 築城協力勤務奉仕隊

陸軍

五

指揮班 男一四 女二三 計三七
第一分隊 男一一 女九 計二〇
第二分隊 男七 女二八 計三五
今歸仁國民學校
中隊長以下三三人(他第二小隊二人)

指揮班	男一四	女二三	計三七
第一分隊	男一一	女九	計二〇
第二分隊	男七	女二八	計三五
今歸仁國民學校			
中隊長以下三三人(他第二小隊二人)			